



今月号のニュース

1. 「ISO取得支援企業紹介」

(1) 製造業 カプトプラテック株式会社

(2) 建設業 有限会社富祥工務店

2. トピックス：食品業界規格ISO22000

ISO取得支援企業紹介

(1) 製造業

社員の教育とともに、
自らも向上し続ける“青年社長”

1. 企業概要

企業名：カプトプラテック株式会社
代表取締役：加部東 伸一
所在地：茨城県東茨城郡茨城町小堤 916
業種：プラスチック製品の切削加工
規格：ISO9001：2000
従業員：43名

2. ISOを取得しての変化とは

「取り組みの結果として、5S活動などの整理整頓についての成果が特に印象的です。

もともとの仕事のやり方は、基本的に変更していませんので、作業者に何が変わったかと聞いても、あまり印象が無いのではないのでしょうか。」(加部東社長)

以前、自社独自にISOへの取組をしようと思ったこともある加部東社長。ISO導入前には、生産管理システムの活用や、社員の配置についても積極的に改善されていました。

3. システムとして活用したい部分

製造業では必ず問題になる「不良個数」「不良率」、カプトプラテック様も例外ではありません。現在は、毎月「不良撲滅委員会」を招集し、1ヶ月間の不良個数、発生場所などをデータ化し報告書としてまとめています。

そこで役立つのが、“是正処置”と“予防処置”です。まだ完全ではない部分もありますが、

問題点についての再発防止に取り組み、不良の発生を減少させています。

4. 社員の教育

特に会社として取り組んでいるのが、「社員教育」です。

社外講習はもちろん、社員全員が礼儀などを学ぶ「礼儀挨拶訓練」を、講師を招いて2日間実施するなど、積極的に取り組んでいます。

また、加部東社長自ら「管理者養成学校」に約2週間参加し、『より会社と社員のことを考えるようになった』とおっしゃっています。

企業の＜要＞は社員、その社員への教育を続けることで、会社自体も成長しようとしています。

5. 今後の課題

先に述べた不良への対応は、一応の水準まで減らすことが出来ました。しかし、これ以上の効果を求めるには、更なる工夫が欠かせません。

不良に関する分析も、今月で3ヶ月目を迎えます。分析結果をどう改善に結び付けていくかは、是正処置の手順である「原因の追究」から「再発防止策」への展開を確実に行うことが求められています。

6. まとめ

今秋には、同じ茨城町宮ヶ崎に本社工場の移転が決定しており、敷地6,000坪 工場2棟(建坪500坪)の広さを誇る新工場となります。

ISOの概念である「顧客満足度の向上」を、社員教育という土台作りから進めている。



(2) 建設業

『日本古来の伝統建築技術』を ISOで管理する

1. 企業概要

企業名：有限会社富祥工務店

代表取締役：富山 満

所在地：茨城県坂東市矢作 1746-2

業種：建設業（一般住宅）

規格：ISO9001：2000

従業員：10名

茨城県岩井市は、平成17年3月22日より猿島町と合併し「坂東市」となりました。



2. ISO取得で一番苦労した点

社員は皆「大工」という“職人さん”のため、書類の作成を行うことが慣れていませんでした。ISOに関連する文書や記録の作成を浸透させるのにとても苦労されたようです。

手探りの状態で試行錯誤しながら進めた結果、少しずつではありますが、効果が表れています。

3. ISOに取り組んで変わったこと

社内での情報交換については、かなり変化があったようです。それまでは各現場の状況はそれぞれの現場単位で把握していましたが、ISOへの取り組み以降、各現場の記録が充実したものになってきました。

4. 今後の課題

「ISOは取得するのも大変ですが、それ以上に継続して維持していくことが大変かなと思います。これも自社の為、そしてお客様の満足度を向上する為でもありと考えています」（富山社長）



トピックス

～ISO22000

食品関連規格本格始動～

「食に関する安全」をいかに消費者に伝えるかが、現在の食品業界にとっての最重要テーマとなっています。

食品の安全を保障するシステムといえば、「HACCP(ハセップ)」が思い浮かびます。国際的にも認知度の高い「HACCP」ですが、食品の安全のみを管理するため、全体的なマネジメントシステムの部分が不足していたのです。

そこで、この「HACCP」と「ISO9001：2000」を融合させて新たに「ISO22000：2005」が誕生することとなりました。

ISO22000：2005は、「食品安全マネジメントシステム - フードチェーンにおける組織に対する要求事項」との標題で、2005年9月1日の発行を目指しています。

2006年以降は、確実に食品業界のスタンダード規格として、取得企業が増えることでしょう。

ISO14001:2004年版改訂コンサル

(1) 移行コンサルプログラム

2004年度版改訂規格の解説
文書化支援
内部監査・模擬審査

(2) 日程

トータル3日間(2～3ヵ月)
必要に応じて内部監査研修実施

㈱マネジメントセンターへの、
ご意見、ご質問をFAX又はメールで
お寄せ下さい！

FAX：029-246-4672

Mail：watanabe@isommc.com